

第三回谷汲山さくらまつりマラニック 満開の桜の下を走り、谷汲踊りに酔う

十七年四月十日

フル百回楽走会
593
武藤 翔峰

4月10日、木下さん呼びかけによる第三回谷汲山さくらまつりマラニックが行われ、フル百楽走会、犬山走友会、春日井走友会の人たちなど総勢43人の多くのランナーが参加しました。ちょうどタイミングよくさくらも満開となり、天候にも恵まれ楽しい、快適なマラニックとなりました。ゴールの華厳寺は西国33ヶ所巡りの最終札所で、「満願寺」とも呼ばれ年中参拝客のある古刹です。今日は谷汲踊りも行われました。谷汲踊は今から八百年程前より伝わる武者踊で、源氏が平家を滅ぼし将兵が鎌倉に戻り戦勝を祝い踊ったのが始まりと伝えられています。以前は雨乞踊や豊年踊と呼ばれていましたが、衰退していったため昭和28年1月、踊の復興を図るため「谷汲踊」と命名し保存会も作られ今ではさまざまなイベントや祭りに披露されています。この踊は長さ4メートルの竹製で鳳凰の羽根を形取ったシナイを背負い、胸には直径70センチの大太鼓を抱えた12人1組に組んで踊りとても勇壮華麗です。本当に楽しい一日でした。木下さん、お世話になり、本当にありがとうございました。



金沢から和田さんも参加



No.621 野村さんが終始引張る



満開の桜の下を走るランナー



800年の伝統、谷汲踊り



篠瀬さん夫妻もご機嫌



谷汲山にゴールしました